

WingNeo[®]

INFINITY 2024

TP1改訂情報

改訂日：2023年7月5日

地図 XML 入力機能強化

- 変更点

地図XMLファイルを指定して読み込みする従来の機能に加え、G空間情報センターよりダウンロードした**ZIP形式のファイルを直接参照**して取り込みが可能となりました。

※従来G空間情報センターよりダウンロードしたZIPを解凍し、取り込みたい地番区域、地番が含まれるZIPファイルを選択の上、更にZIPファイルを解凍してからINFINITYへ入力していた作業を効率化します。
構成点10万点以上かつ3万筆以上の地図XMLデータの表示・選択も可能です。(INFINITYへ登録制限は、構成点数10万点、筆数3万筆です。)



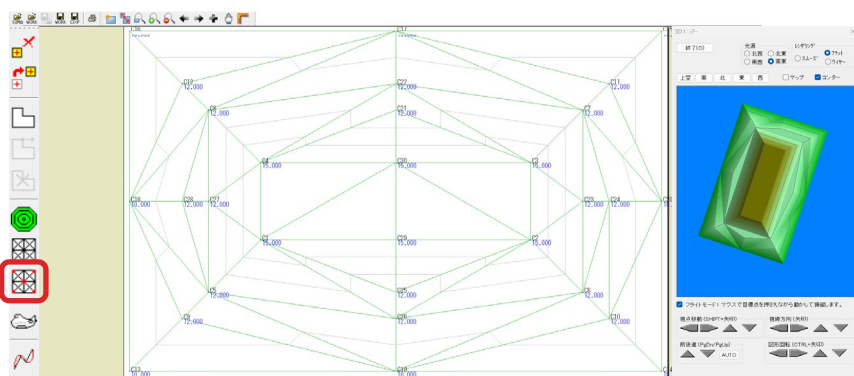
対象地区、地番名を選択し、隣接地番を選択します。
※ビューワーから地番を選択することも可能です。

オートコンタ機能強化(地形サーフェス編集)

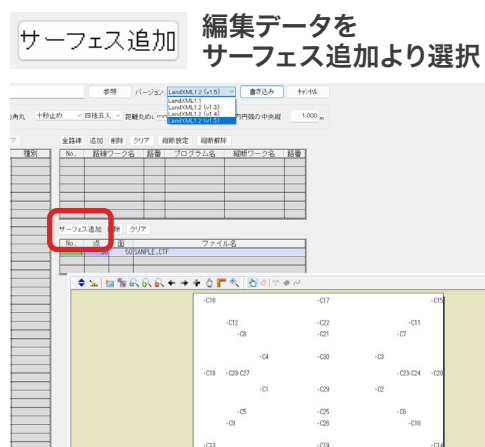
- 変更点

地形サーフェスデータにてブレイクラインを生成する際、オートコンタツールにて編集する1辺を指定し加工していましたが、思うようなブレイクラインの作成が難しいというご要望から、本バージョンより、**2点を指定**する機能を搭載し、**ブレイクラインを直接生成**する事が可能となりました。

また、生成した地形サーフェスをINFINITYの[外部データ]-「LandXMLファイル出力」で、出力のVersionを1.4以降にいただくことで、J-LandXMLの設計データとして出力することが可能です。



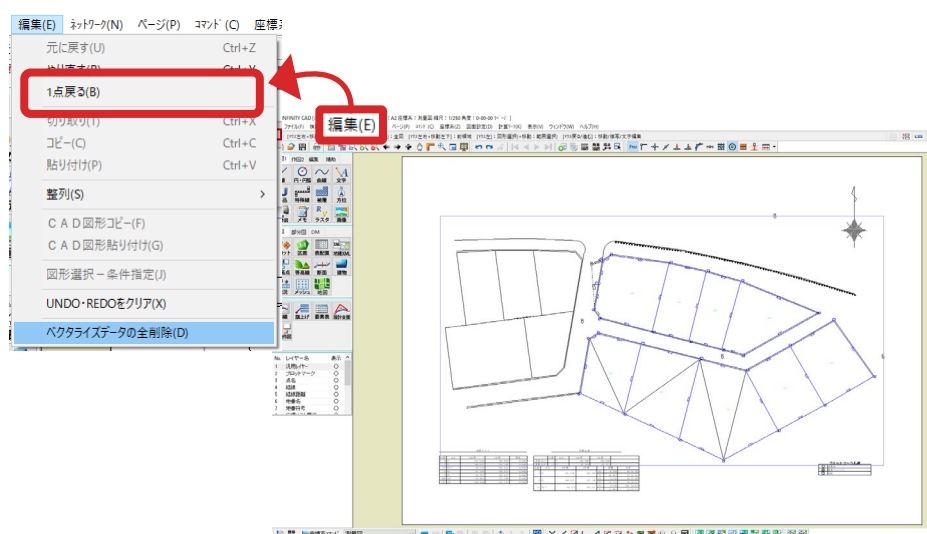
メッシュ編集 (2点指定) を追加



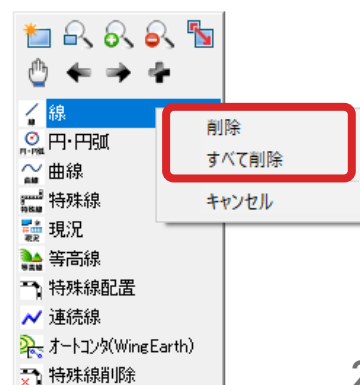
CAD コマンド機能追加

- 機能追加点

1. [一点戻る]が追加されましたので、マウスのみでも点の指定を1点解除できます。

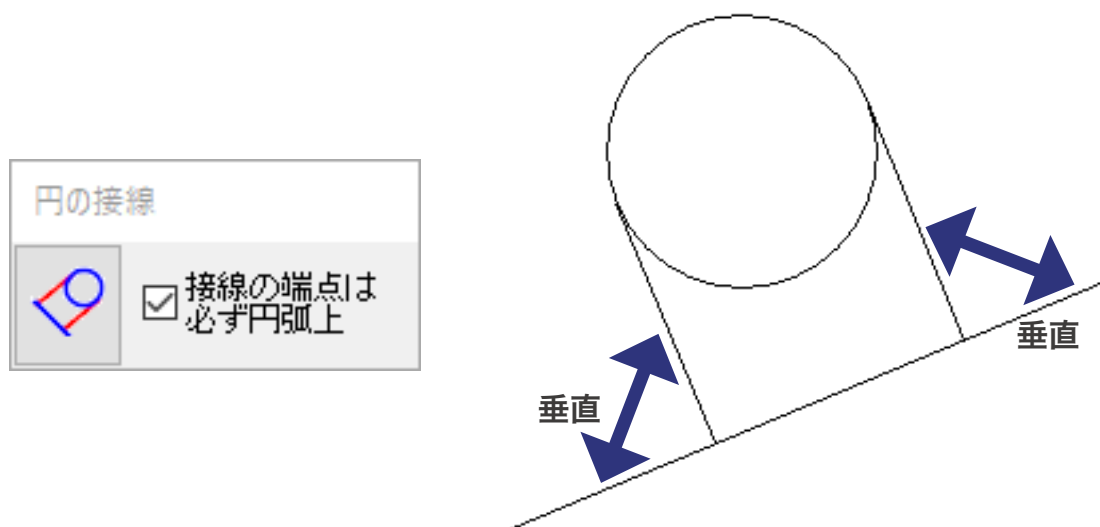


2. コマンド履歴にあるコマンドを右クリックすることで、**履歴の削除**ができるようになります。使用頻度の低いコマンドを整理できます。



- 機能追加点

1. 円の接線を作成するとき、**任意の線分に対して垂直になる指定**ができるようになります。



2. 新たに垂線を作成するとき、垂線の**長さを指定**できるようになりました。



長さ指定に対応

3. 移動&複写&削除コマンドで最後に反転を使用した場合は、改めて同一コマンドを起動したときに反転が選択されている状態になります



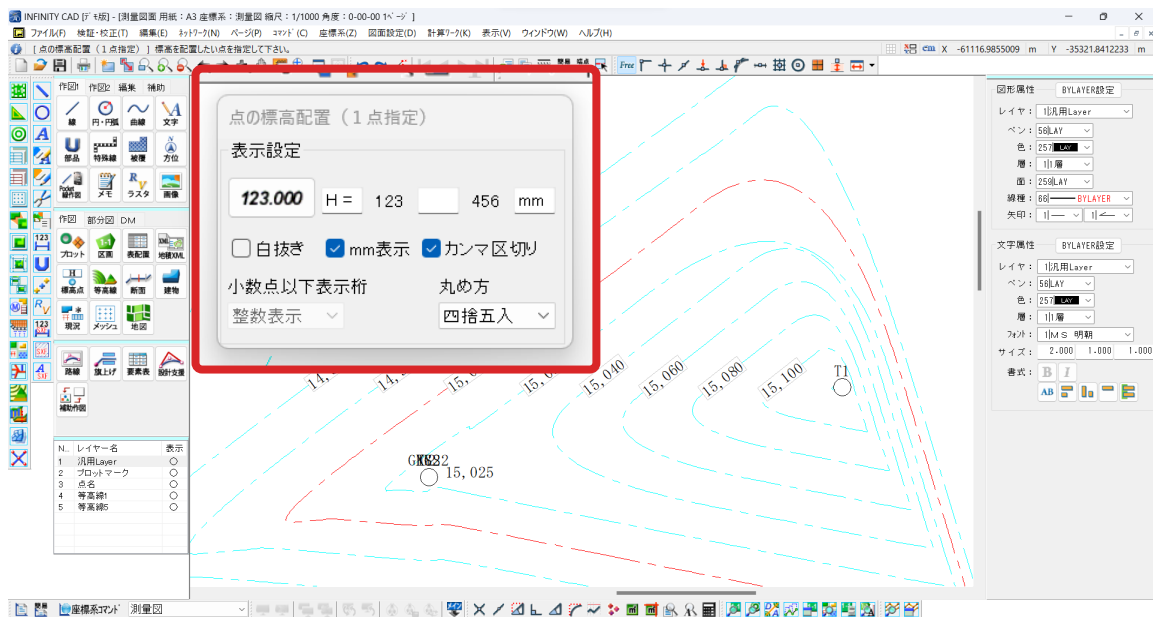
作業履歴から、最後に使用した指定方法を自動呼出し

用地 CAD 機能追加

- 機能追加点

標高・比高の数値を表示するとき、**3ケタごとに「,」(カンマ)**を入れられるようにしました。

- 対象：
- 点の標高配置 (1点指定)
 - 点の標高配置 (多角指定)
 - 点の比高配置 (1点指定)
 - 点の比高配置 (多角指定)
 - 等高線標高配置



地籍調査機能追加

- 機能追加点

地籍調査票で、大字+字（地番なし）の住所入力に対応しました。

帳票「地籍調査票(現地調査用)」に帳票アイテム[8812]大字+字(「字」挿入)を、

帳票「地籍調査票(データ出力用)」に帳票アイテム[8812]調査前 大字+字(「字」挿入)、[8832]調査後 大字+字(「字」挿入)を追加しました。

8801	調査図番号
8802	地籍図番号
8800	所在(大字)
8801	所在(字)
8802	地番
8803	地目
8804	地積
8811	所有者コード
8805	所有者住所
8806	所有者氏名
8807	その他の登記
8810	所在+地番
R:	[8812] 大字+字(「字」挿入)
比率 水	[8809] 大字+字+地番(「字」挿入)
アイテム:	[881A] 所有者氏名(「外何名」付加)
	[881B] 共有者人数(「外何名」)
	[881C] 所有者備考
	[8828] 摘要

[8810] 所在+地番
[8812] 大字+字(「字」挿入)
[8809] 大字+字+地番(「字」挿入)

地籍調査票(現地調査用)

地籍調査票(現地調査用)		(様式第1号)	
調査図番号	地籍図番号	立会人署名 (代地主)	
立会人	令和 年 月 日		
地籍調査前の土地の表示		地籍調査後の土地の表示	
所在・地番	地目	地積	地目
地目・地積	地目	地積	地目
所有者	住所		
登記関係	所有権	その他の登記	
表示事項			
異動事項(訂正・消滅事項)	異動事項		
<input type="checkbox"/> 分割	<input type="checkbox"/> 年 月 日 不詳(一部) 地目変更		
<input type="checkbox"/> 合併	<input type="checkbox"/> 年 月 日 合併		
<input type="checkbox"/> 合併	<input type="checkbox"/> 年 月 日 合併		
<input type="checkbox"/> 合併(一部を合併)	<input type="checkbox"/> 年 月 日 合併(一部を合併)		
<input type="checkbox"/> 合併(一部を合併)	<input type="checkbox"/> 年 月 日 合併(一部を合併)		
<input type="checkbox"/> 年 月 日 不詳(一部) 地目	<input type="checkbox"/> 年 月 日 不詳(一部) 地目		
<input type="checkbox"/> 不詳	<input type="checkbox"/> 年 月 日 不詳(一部) 地目		
上記のとおり分割・合併・一部合併・ 地目変更(訂正)・滅失・不詳(一部)に ついて(訂正)をする。		<input type="checkbox"/> 年 月 日	<input type="checkbox"/> 年 月 日
地籍調査票(現地調査用)		地籍調査票(現地調査用)	

8802	調査前 地番
8803	調査前 地目
8804	調査前 地積
8811	調査前 所有者コード
8805	調査前 所有者住所
8806	調査前 所有者氏名
8807	その他の登記
8810	調査前 所在+地番
8812	調査前 大字+字(「字」挿入)
8809	調査前 大字+字+地番(「字」挿入)
881A	調査前 所有者氏名(「外何名」付加)
881B	調査前 共有者人数(「外何名」)
881C	調査前 所有者備考
8820	調査後 所在(大字)
8821	調査後 所在(字)
8822	調査後 地番
8823	調査後 地目
8824	調査後 地積(有効な場合に出力)
8831	調査後 所有者コード
8825	調査後 所有者住所
8826	調査後 所有者氏名
8827	地籍簿への記載事項
8828	摘要
882A	地籍(常に出力)
8830	調査後 所在+地番
R:	[8832] 調査後 大字+字(「字」挿入)
比率 水	[8829] 調査後 大字+字+地番(「字」挿入)
アイテム:	[883A] 調査後 所有者氏名(「外何名」付加)
	[883B] 調査後 共有者人数(「外何名」)
	[883C] 調査後 所有者備考

[8810] 調査前 所在+地番
[8812] 調査前 大字+字(「字」挿入)
[8809] 調査前 大字+字+地番(「字」挿入)

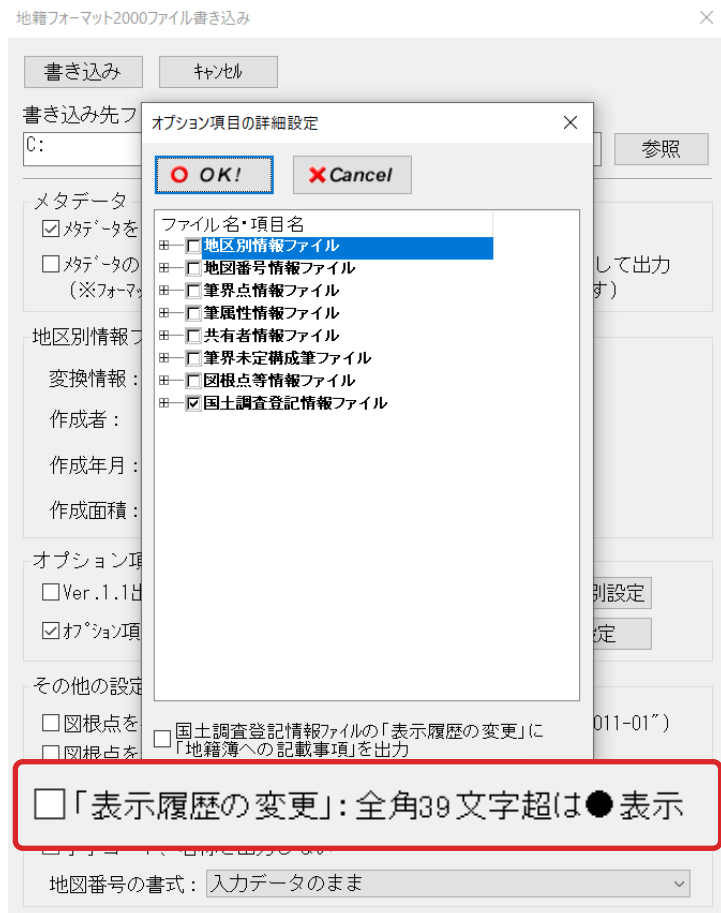
[8830] 調査後 所在+地番
[8832] 調査後 大字+字(「字」挿入)
[8829] 調査後 大字+字+地番(「字」挿入)

地籍調査票(データ出力用)

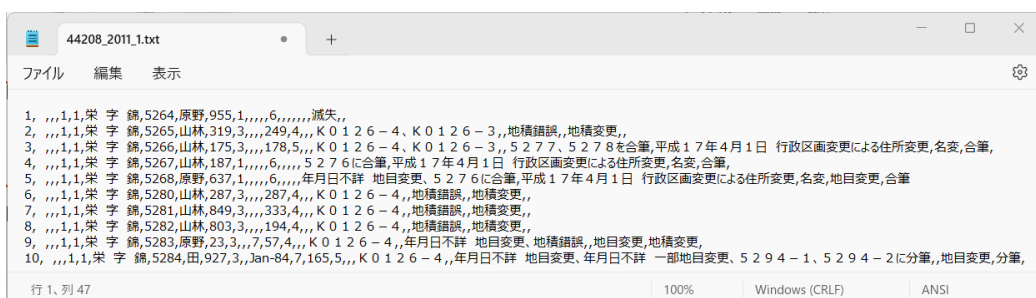
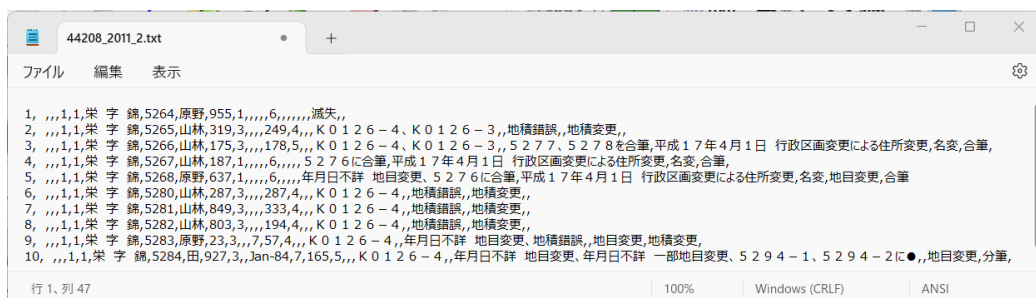
地籍調査票(データ出力用)		(様式第2号)	
調査図番号	地籍図番号	立会人署名 (代地主)	
立会人	令和 年 月 日		
地籍調査前の土地の表示		地籍調査後の土地の表示	
所在・地番	地目	地積	地目
地目・地積	地目	地積	地目
所有者	住所		
登記関係	所有権	その他の登記	
表示事項			
地籍簿への記載事項			

- 機能追加点

令和5年2月の登記情報システムの改修に伴い、地籍フォーマット2000（国土調査登記情報ファイル）の文字数制限が39文字から**100文字**に変更されたのに対応しました。



詳細設定の「表示履歴の変更: 全角39文字超は●表示」のチェックを外して出力してください。



長い表示履歴の変更項目（原因欄）も記載可能

- 機能追加点

帳票「地籍調査票綴」に[8C64]検査年月日③アイテムを追加しました。

8C01	市郡区名(表紙設定)
8C02	町村名(表紙設定)
8C03	市区町村名(地区情報)
8C04	調査地区名(地区情報)
8C11	大字名称
8C12	大字コード
8C18	小字名称
8C19	小字コード
8C21	分冊数
8C22	分冊番号
8C31	開始地番
8C32	開始地番(親番)
8C33	開始地番(枝番)
8C38	終了地番
8C39	終了地番(親番)
8C3A	終了地番(枝番)
8C41	作成: 実行機関名
8C42	作成: 年月日
8C43	作成: 点検年月日①
8C44	作成: 点検年月日②
8C51	調査: 実行機関名
8C52	調査: 開始年月日
8C53	調査: 終了年月日
8C54	調査: 点検年月日
8C61	実施主氏名
8C62	検査年月日①
8C63	検査年月日②
8C64	検査年月日③
8C71	認識年月日
8C72	認識番号

R: 0.0

比率 水

アイテム: [8C64] 検査年月日③

8C64 検査年月日③

(様式第4号)

大字 字

地籍調査票綴

冊の何 第 号

番の から 番の まで

作	実行機関名				
成	作成年月日				
点	検	①	②	③	④
調	査	①	②	③	④
査	実施主氏名				
	調査期間	から	まで	認識年月日	第 号
	点 検				

- 機能追加点

網計算の点検測量ワークに帳票の空白行を追加しました。

- 「詰める1」: 点検値・採用値両方とも値がない行のみ詰めて表示されます。
- 「詰める2」: 点検値・採用値の片方または両方の値がない行を詰めて表示されます。

INFINITY - (標準 - 1000) 地図データ作成環境 - 2D三次元計測成果閲覧ツール - 3Dビュー

XYZ 座標管理 境界設定 条件設定 網計算 外部データ ツール

OK Cancel 新規 読み込み 削除 貼り付け 印刷 検索 次

点検測量 野帳選択

帳票の種類 測量区分 採用値の距離 点検距離 帳票の空白行

網計算ワーク・記憶 図形三角 逆方向も対象 詰める2

作成年: 月 日 作成者 点検者 作業量

2023 06 20

No.	DB7-4名	DB7-4名	No.	距離	距離
1	現場	asenn1tsu.D08	1	1	T1
2	現場	asenn1tsu.D08	1	2	G1
3	現場	asenn1tsu.D08	1	3	G2
4	現場	asenn1tsu.D08	1	4	G3
5	現場	asenn1tsu.D08	1	5	G4
6	現場	asenn1tsu.D08	1	6	G5
7	現場	asenn1tsu.D08	1	7	G7
8	現場	asenn1tsu.D08	1	8	G6
9	現場	asenn1tsu.D08	1	9	G4
10	現場	asenn1tsu.D08	1	10	G8
11	現場	asenn1tsu.D08	1	11	G8
12	現場	asenn1tsu.D08	1	12	G10
13	現場	asenn1tsu.D08	1	13	G5
14	現場	asenn1tsu.D08	1	14	G11
15	現場	asenn1tsu.D08	1	15	G2
16	現場	asenn1tsu.D08	1	16	G10
17	現場	asenn1tsu.D08	1	16	G10

詰めない: 詰めないで全ての行を出力する

詰める1: 該当する点検値・採用値の両方とも空白の行は詰めて出力する

☒ 詰める2: 該当する点検値・採用値のどちらかが空白の行は詰めて出力する

集点追加 ● 点検値 ○ 採用値

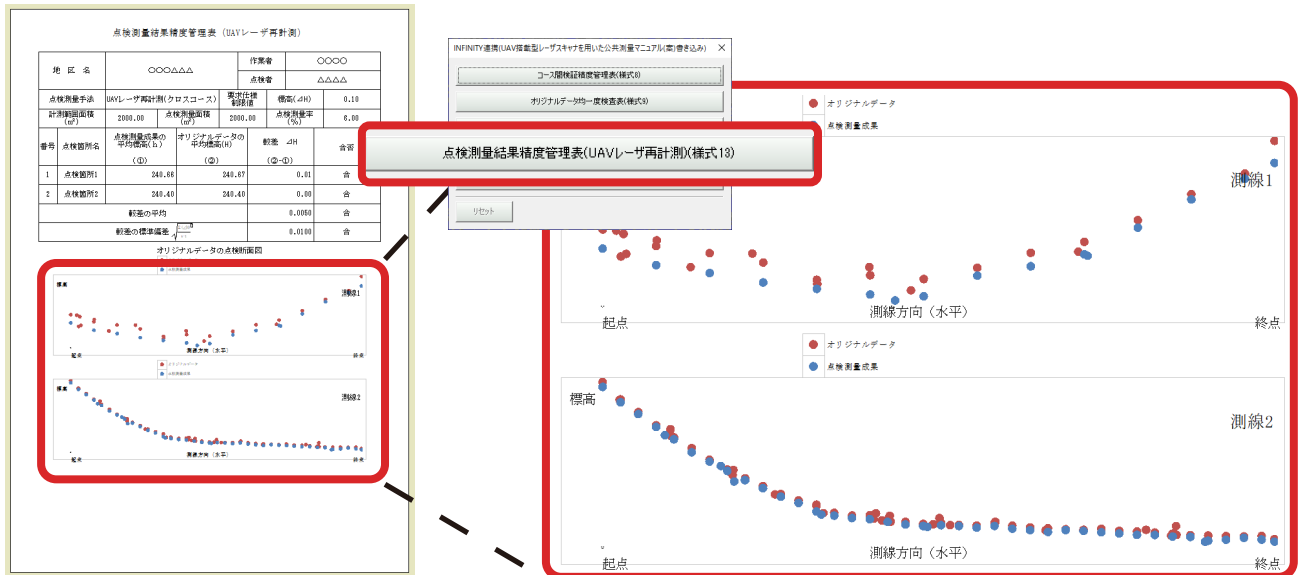
図面: 1/37 区画数: 0 13/14/37

その他機能追加

- 出力追加点

帳票印刷でのCAD図面ファイル出力CADに、グラフィック図形が含まれている帳票をCAD図面として外部出力した場合に、画像として出力するようになります。

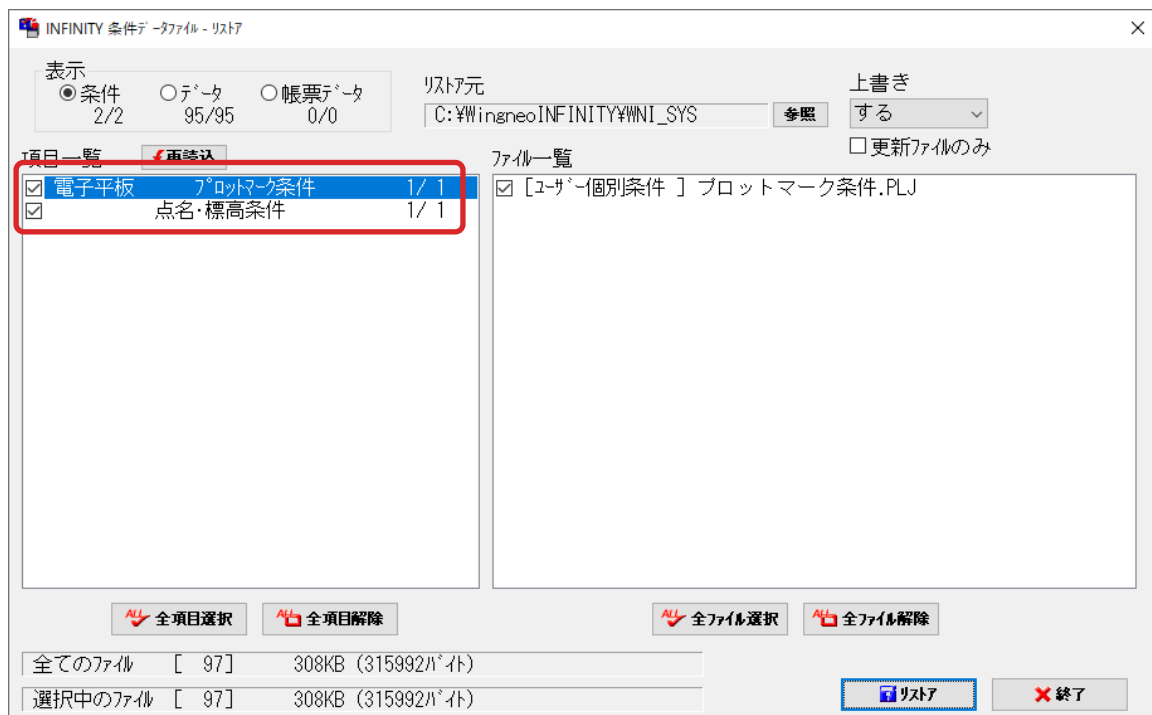
例：3次元計測成果作成ツールにて、「UAV搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル（案）」第49条の様式13の**点群の断面図も出力**できるようになります。



従来は別途出力後に貼り付けていた断面図を、帳票と同時に出力

- 機能追加点

条件バックアップツール/条件リストツール/条件削除ツールにおいて、項目一覧に**電子平板 プロットマーク条件**と**電子平板 点名・標高条件**を追加しました。



改訂内容一覧

WingneolINFINITY バージョン 13.00.0201 TP0001

[CAD - CADコマンド全般]

CADコマンドの点入力を1点戻す機能を追加しました。(メニューの[編集]-[1点戻る]、ページバーの[1点戻る]アイコン)

[CAD - CAD文章図形]

INFINITY2024の文章図形の行処理で、最後が改行で終わっている場合にINFINITY2023以前の様に省かれた動作にならなくなっていた問題を修正しました。

[CAD - DM (旧) ファイルの書き込み]

等高線を図郭でカットして出力した場合、一部の等高線の標高が0mで出力される場合があった問題を修正しました。

[CAD - DXF/DWGファイル取り込み]

一部のDWGファイルが読み込めない問題を修正しました。

[CAD - SIMAファイル読み込み]

区画構成点でない測点にXY座標値が無い場合、測点に別の座標値が取り込まれたり、測点名が重複して取り込まれる問題を修正しました。

[CAD - SXF寸法コマンド-直線寸法]

[直線寸法]にて作図を確定した後、右クリックでコマンドが終了できなくなる問題を修正しました。

[CAD - コマンド履歴]

コマンド履歴を削除する機能を追加しました。

[CAD - コントロールバー]

[コントロールバーの再配置][コントロールバーの初期化]が正常に動作しない問題を修正しました。

[CAD - コントロールバーの最後の配置状態の記憶内容]

[Shift]キーを押したままCADを起動した際に、記憶状態を参照せずに起動できる機能を追加しました。

[CAD - シェープファイルの書き込み]

[属性ファイル (.dbf) の出力形式]に[SXF属性設定を出力する]を選択して出力した場合、属性ファイルに図形名、属性名、属性値が書き込まれないことがある問題を修正しました。

[CAD - スナップコマンド]

「領域線の表示なし」にチェックを入れて作図したSXFハッチングの領域線が、スナップコマンドの対象になってしまう問題を修正しました。

[CAD - プロパティバー]

引き出し線がカットされた状態の文字に対して矢印の設定すると、カットされた部分にも矢印が付く問題を修正しました。また、カットの有無の切り替えとカット長の変更ができるようにしました。

[CAD - マルチビュー]

複数ページある図面を[ウィンドウ]-[マルチビュー]で表示し、表示された図面のページを切り替えた後、フォーカスされていないビューを拡大・縮小すると、線の色や太さが変わってしまったり、文字が消えてしまう問題を修正しました。

[CAD - ラスタ配置コマンド/画像配置コマンド]

PDFファイルを解像度[300dpi]で「モノクロイメージで出力」にチェックを付けて配置した場合、すべてのピクセルが同じ色になることがある問題を修正しました。

[CAD - レイヤー管理]

図形データ数やレイヤー数が多いと「レイヤー管理」ダイアログが表示されるまでに時間がかかる問題を修正しました。

[CAD - 円の接線コマンド]

線と円を指定して垂線となる接線を作図するモードを追加しました。

[CAD - 垂線コマンド]

- ・基準線上の点から垂線を伸ばすモードにおいて、ベジェ・楕円弧に対する垂線が作図されない問題を修正しました。
- ・「点」「マーカ」「メモ」を基準線の選択対象から外しました。
- ・基準線上の点から垂線を伸ばすモードにおいて、クリッピングした画像を基準線に選択した場合、クリッピング境界ではなく元の画像の枠に対して垂線が作図される問題を修正しました。
- ・垂線の長さを指定できる機能を追加しました。

[CAD - 寸法コマンド]

[寸法]コマンド起動中に現在設定している図形属性及び文字属性ではなく、最後に同コマンドで使った図形条件を使用する設定がデフォルトで設定されている問題を修正しました。

[CAD - 座標値指定入力]

「座標値指定入力」ダイアログの文字を大きくしました。

[CAD - 文字反転コマンド]

文字の図形との離れが「0」ではない場合に、文字反転を行うと文字の配置位置がずれてしまう問題を修正しました。

[CAD - 文字配置コマンド]

[+1]の機能を有効にして数字のみの文字列を配置した場合、数を1つ進めた文字列ではなく、末尾に「1」を追加した文字列が文字入力欄に設定される問題を修正しました。

[CAD - 特殊線図形指定配置]

- ・[特殊線図形指定配置]にて[P1][P2][P3]の値を変更すると、配置位置「中心」が選択されている場合に特殊線が指定した図形の中心にして配置されない問題を修正しました。
- ・[特殊線図形指定配置]にて「設定を記憶」にチェックを入れても「元図削除」のチェックが外れてしまう問題を修正しました。

[CAD - 移動・複写・削除コマンド]

前回のコマンド終了時の[追加]と[反転]の選択状態を記憶して起動するよう変更しました。
前回の終了時に[解除]を選択していた場合、初期状態で[追加]を選択するよう変更しました。

[CAD - 簡易描画設定]

[データ簡易描画設定]にて、条件名称が入った状態で[リストファイル書き込み]を行うと「無題のファイルは不正なスキーマを含んでいます」とエラーメッセージが表示される問題を修正しました。

[用地ルート - 同一点名チェック]

座標管理で「同一点名チェック」の警告メッセージを出す際に警告音を出すように変更しました。

[用地ルート - 地図XMLファイル読み込み]

[地籍調査 - 地図XML入力]

- ・[G空間zip参照]を追加しました。
- ・「地図XMLデータビュー」上で10万点、3万筆を超えるXMLデータの読み込みに対応しました。

[用地CAD - スケッチ断面]

[スケッチ断面]にてカット線を移動した後に、再度現況線を編集するとカット線が移動前の位置に戻ってしまう問題を修正しました。

[用地CAD - 区画作成]

[区画作成]コマンドにて、区画・地番名として利用できない文字でも名称として登録できてしまう問題を修正しました。

[用地CAD - 点の標高配置 (1点指定) コマンド]

[用地CAD - 点の標高配置 (多角指定) コマンド]

[用地CAD - 点の比高配置 (1点指定) コマンド]

[用地CAD - 点の比高配置 (多角指定) コマンド]

[用地CAD - 等高線標高配置コマンド]

標高を3桁ごとにカンマで区切った文字列で配置できる機能を追加しました。

[路線ルート・CAD - 幅杭計算書、幅杭成果表、拡幅計算書]

[幅杭計算書]・[幅杭成果表]・[拡幅計算書]にて、繰り返し領域に行数固定を設定した帳票を使用して帳票のプレビューを表示させる際に、印字条件設定の「拡大率の自動調整」を「入らない場合のみ」に設定してページ送りを行うと強制終了する問題を修正しました。

[基準点 - 厳密網平均計算/簡易網平均計算]

[地籍調査 - 厳密網平均計算/簡易網平均計算]

「計算」処理を実行した際に表示される計算結果確認ダイアログで、「詳細表示...」ボタンで詳細内容を確認した時に、各項目タブ内の最初の列の点名が正しく表示されない場合があった問題を修正しました。

[水準 - 水準網ワーク]

[観測成果]-[成果表ファイル]及び[平均計算]-[成果表ファイル]の出力ができない問題を修正しました。

[地籍調査 - 地図番号]

「地図番号設定」画面のビュア描画を操作すると、フリーズする場合があります問題を修正しました。

[地籍調査 - 地籍フォーマット2000出力]

国土調査登記情報ファイルの「項番21:表示履歴の変更」で39文字の制限を100文字まで出力できるようにしました。

[オプション項目]-[詳細設定]の「表示履歴の変更」:全角39文字超は●表示」のチェックを外して出力してください。

[地籍調査 - 地籍調査情報入力]

・[地積測定 (G)]-「地籍調査票(現地調査用)」に帳票アイテム「8812=大字+字(「字」挿入)」を、
「地籍調査票(データ出力用)」に帳票アイテム「8812=調査前 大字+字(「字」挿入)」、「8832=調査後 大字+字(「字」挿入)」を追加しました。

・「表紙設定」の「検査・承認」に「検査③」の入力を追加しました。

併せて[地積測定 (G)]-「地籍調査票綴」に帳票アイテム「8C64=検査年月日③」を追加しました。(地籍調査票作成要領、令和3年3月版の対応)

[地籍調査 - 網計算 - 点検測量]

点検対象の点検値や採用値が無い場合に、帳票の行を詰めて出力できるよう「帳票の空白行」の設定条件を追加しました。

[縦横断 - 横断DC野帳変換]

・視準点が1点も無い器械点を含むDCBファイルを取り込んだ場合、器械点データ一覧を表示する際にプログラムの強制終了や、後視点に無関係な点名が表示される問題を修正しました。

・データコレクタの「観測データの編集」で[気温]と[気圧]を空欄に設定したDCファイルを取り込んだ場合、[観測情報]の[気温]と[気圧]にそれぞれ「1000」「3277」と表示される問題を修正しました。

[縦横断 - 横断野帳データ入力]

「横断野帳データ入力」画面で中心点を選択した後、測点を複数行削除すると強制終了する場合があります問題を修正しました。

[縦横断 - 片勾配データの入力(左右別)]

[計画データ]タブで[摺り付け]-[片勾配摺り付け]-[左右別指定]にて出発点を登録し、「+距離」を入力後、再度入力画面に入ると、「+距離」が入力した値ではなく「0.000」で表示されてしまう問題を修正しました。

[縦横断 - 縦断データ入力]

・縦断データの終了測点が開始測点より前になる入力を行った後、[OK]を押してワークを終了しようとする強制終了・またはビュー上に何も描画されない問題を修正しました。

・[計画データ]タブにて入力後に「縦断線形計算書」を印刷するとプログラムが強制終了する問題を修正しました。

・[路線取込]から起点終点の2点しかない線形を取り込んだ縦断データで、[線形データ (IP)]タブにて手入力して[OK]ボタンを押すと強制終了する問題を修正しました。

・[計画データ]タブで「横断計画データを使用」にチェックが入っている場合、[横断確認]を実行すると、強制終了する問題を修正しました。

[縦横断 - 縦断データ入力 野帳データ]

・[野帳データ]タブに切り替え、路線を選択して「縦断野帳入力」画面に入った時にビュー画面が表示されない問題を修正しました。

・[野帳データ]タブに切り替え、路線選択時のビュー画面に表示される地盤線と「縦断野帳入力」画面のビュー画面に表示される地盤線の位置が異なる問題を修正しました。

[縦横断 - 縦断表・縦断図]

縦断ワークの製図後、縦断表を配置した際に終点の測点名や追加距離などの文字が表示されない場合があります問題を修正しました。

[縦横断 - 縦横断ネットワーク編集]

ネットワーク起動にて複数PCで同一現場編集時、縦断ワークを複数人で作業して閉じた後に再度開くとデータが反映されていない問題を修正しました。

[縦横断CAD - 条件設定コマンド]

[条件設定]から「横断製図作成」にて「断面単位で条件設定」のチェックを外して[製図条件]で条件を設定した場合、変更していない条件が断面単位の条件に設定される問題を修正しました。

[縦横断CAD - 横断製図作成]

「横断作図条件(断面単位の設定)」の[備考文字作図条件]の設定が効かない問題を修正しました。

[建物 - 建物タイプ変更]

ネットワーク起動にて複数PCで同一現場編集時、[建物タイプ変更]でタイプを「普通建物」、「一棟建物」に変更した場合、変更したデータが他のコンピュータに反映されない問題を修正しました。

[建物 - 形状入力]

特定の操作から[任意編集]を行った場合に強制終了する問題を修正しました。

[建物 - 文字簡易移動コマンド]

[設定]から「SHIFTキー押下の制御」にある「45°刻み方向にも移動する」のチェックを外しても45°方向に移動してしまう問題を修正しました。

[ツール - Pocket-Neo Series クラウドストレージ アップロード]

アップロードした現場をPocket側でダウンロードすると現場が作成されない問題を修正しました。

[ツール - WingFan - Pocket-Neo Series メニュー / Pocket-Neo Series(USB) メニュー]

転送する座標・区画の確認ダイアログのビューにおいて、点名や区画名が途中でしか表示されない問題を修正しました。

[ツール - WingField-GT同期ツール]

アップロードした現場をWingField-GT側でダウンロードすると新規現場の作成に失敗する問題を修正しました。

[ツール - データコレクタ]

- ・[座標管理]-[座標リスト]からデータコレクタを呼び出したときに座標送出内容が連動しない問題を修正しました。
- ・[座標データ送出]にて測点選択の際に点名を選択しても一覧に表示されない問題を修正しました。

[ツール - オートコンタ]

メッシュ編集(2点指定)コマンドを追加しました。

[ツール - 条件バックアップツール/条件リストアツール/条件削除ツール]

条件の項目一覧に「電子平板 プロットマーク条件」と「電子平板 点名・標高条件」を追加しました。

[ツール - 画地調整支援ツール]

「面積管理シート」の「面積」に値が入力できない問題を修正しました。

[Mobile-Neo - プロット追加コマンド/プロット変更コマンド]

[Mobile-Neo - 電子平板 - プロット追加コマンド/独標点追加コマンド/プロット変更コマンド]

[プロット条件]と[点名・標高条件]の[書込み][読み込み]機能を追加しました。

[Mobile-Neo - 電子平板]

[システム]-[TS通信条件]を実行すると電子平板が強制終了することがある問題を修正しました。

[Mobile-Neo - 電子平板-縦横断]

[観測]-[電子レベル通信条件]の接続機種名に「Leica(Sprinter)」、「Leica(Sprinter)[100M/200M]」、「Leica(NA2000)」、「Sokkia SDL30」のいずれかを選択した場合、レベルと正常に通信できない問題を修正しました。

[その他 - WingFAN]

タブレット端末で「フォルダー一覧」や「現場一覧」を右クリックした場合にコンテキストメニューが表示されない問題を修正しました。

[その他 - WingFAN-成果管理]

成果管理でバージョン間におけるデータの互換性に関する問題を修正しました。

- (1) INFINITY2023以前に成果関連付け([済]マークで表示)されていた項目が、V2024では関連付けされていない状態になる。
- (2) INFINITY2024の本修正適用前に関連付けされた項目はINFINITY2023以前では関連付けされていない状態になる。

[その他 - 全般]

帳票選択などの「ファイル選択」ダイアログでファイル名に重複した拡張子(～.FMT.FMTなど)が付いているファイルが一覧に含まれていなかった問題を修正しました。

[その他 - 帳票印刷でのCAD図面ファイル出力]

プログラムで発生させるグラフィック図形が含まれている帳票をCAD図面として外部出力した場合に、画像として出力するようにしました。

[その他 - 電子納品編集ツール]

「土木設計・測量電子納品R4.@FT」にて[施設情報平面直角座標系番号]に「0」を入力するとエラーが出る問題を修正しました。